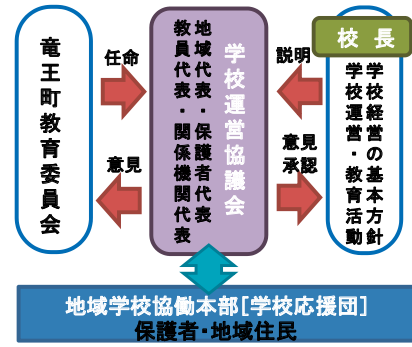


地域の各種団体・機関関係者と学校をつなぎ深化させるポスターセッション

滋賀県蒲生郡竜王町	● 活動名	● 関係する学校名
	竜王小学校学校運営協議会	竜王町立竜王小学校

設置年度	平成 26 年度	学級数	19 学級	児童・生徒数	415 人
学校運営協議会の委員数	15 人	学校運営協議員の属性	学校応援団コーディネーター、同窓会理事、スポーツ少年団本部長、元 PTA 会長、元 PTA 事務局、町公民館長、地域学校協働本部統括マネージャー他		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	有				
参考 URL	http://www.rmc.ne.jp/ryuo-es/				

● 体制図



● 連絡先	竜王町立竜王小学校	☎ 0748-57-0004
-------	-----------	----------------

● 活動の概要・経緯

平成27年度には、コミュニティ・スクール竜王小学校学校運営協議会拡大会議を開催した。各区長に出席を依頼し、コミュニティ・スクール竜王小学校の現状や取組について説明の後、「竜王の子供の現状や課題」「子供や保護者、地域の願いをかなえる学校」についての意見交換を行った。また、子供の健全育成にかかる各種団体・機関関係者との懇談会も行った。

平成28年度には、心豊かでたくましい竜王っ子の育成をめざして、日々熱心な取組を展開していただいている地域の様々な団体や関係機関に広く声をかけ、土曜参観日を利用してポスターセッションを行った。学校、家庭、地域が同じ願いや方向性を持って、一体となる活動の一つとなった。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

平成 27 年度、竜王町地域学校協働本部 [学校応援団]、竜王町立小学校同窓会、竜王町民生委員児童委員協議会、竜王町青少年育成町民会議、竜王町子ども会連合会、竜王町少年補導委員会、竜王ライオンズクラブで竜王の子供の現状や課題についての意見交換を行った。子供の健全育成にかかる各種団体・機関関係者の皆様方からの御意見を中心に地域の人材の力を引き出し、学校づくり×地域づくり×人づくりにつながるネットワークづくりを行った。

さらに平成 28 年度には、学習参観日の人権ライブコンサートの前に体育館を会場としてポスターセッション発表団体・関係機関のコーナーを設け、保護者や児童に啓発活動を行った。学校運営協議会委員は保護者を各団体のブースへ案内し、各団体の取組や活動の説明をした。これにより、地域と連携した信頼される学校づくりのために学校を支えていただいている各種団体・関係機関のことを保護者に知ってもらうことができた。

【実施にあたっての工夫】

平成 27 年度から、地域とのネットワークづくりをするため、区長会や各種関係団体との拡大会議を行った。その中で、地域の活動をもっと保護者に知ってもらうべきであるという意見が出てきた。

そこで、多くの保護者に参加していただける土曜参観日及び子育て講演会と並行して、校舎内に各関係団体のブースを設けてポスターセッションを行った。事前に、何度も準備委員会を設けたり掲示のポスターやチラシを作成し配布したりすることで、学校運営協議会と地域の各種団体、学校の関係性を深めようとした。

さらに、学校と保護者・地域のネットワークを広げ、高め合うことができるように、それぞれの団体による工夫を凝らした PR を考えていただいた。

また、学校運営協議会・各種関係団体と学校教職員との関係性を深め、気軽に学校のことについて語り合い、今後の学校応援団組織の充実を図ることもねらいとした。

● 事業を実施しての効果・成果

平成 27 年度に関係 7 団体と竜王の子供の現状や課題についての意見交換を行ったことが発端となり、平成 28 年度にポスターセッション形式で、保護者や児童に活動の様子を知ってもらうことで、学校と地域が情報を共有するようになり、ネットワークが広がった。また、さらに地域が学校に協力的になった。

その一例として、今年度は昨年度より学校応援団組織のボランティアによる授業支援が増えた。また、PTA 活動においても地域の協力によって大規模な運動場の整備が行われるなど、地域と連携した取組が組織的に行えるようになった。

教職員からは、授業や課外学習などで、地域ボランティアの協力を得やすくなり、より安全で質の高い教育活動が行えるようになり、児童は地域の方に出会うとあいさつをしっかりと行い、感謝の気持ちで授業を受けるようになっていくという報告がある。また、児童はたくさんの人に教えてもらえ、支援してもらえるので、学習内容がよくわかるとともに、楽しんで学ぶことができると話している。

今後、「地域コミュニティの中心としての学校」という視点から、校舎改築等に向けた熟議を行うことで、将来を見据えた学校運営の活性化支援を目指している。



学校運営協議会のブース



青少年育成町民会議のブース

ポイント

子供の現状や課題など、子供に関する広い意見を集めるための工夫として、拡大学運協やポスターセッションなどで周知・啓発に取り組んだことが素晴らしいですね。